

市民からのお便り (親子クイズ) うちの子も小学生の時「変顔」を自撮りしてました(笑)。

親子クイズ 503

Q 水は0℃近くになると氷になります。次の氷の結晶は、何と呼ばれるでしょうか。名前を教えてください。

- ① 空気中の水分が凍って地面や植物の葉に付いた氷。「〇〇が降りる」と言います。
- ② 地中の水分が凍ってできた氷。畑などでよく見られ、踏むと音がします。
- ③ 雪が積もった屋根の軒下にできる氷。棒状で先がとがっています。
- ④ 空から降ってくる大き目(5mm以上)の氷。農作物だけでなく車の屋根や窓ガラスに被害が出ることもあります。

【第502回解答】

- [selfie]
- (1) squirrel (リス)
 - (2) monkey (サル)
 - (3) elephant (ゾウ)
 - (4) giraffe (キリン)
 - (5) lion (ライオン)
 - (6) horse (ウマ)

【第502回当選者】

- 島崎 真由 (岡豊町)
- 戸田 友紀 (大浦甲)
- 高橋 正晃 (見明)
- 松下 智香 (浜改田)
- 町田 佳世 (緑ヶ丘)

★応募総数/43通 ★正解率/100%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

■応募締切/4月14日(月)必着
 ■あて先/〒783-8501
 南国市大浦甲2301
 南国市企画課「親子クイズ」係
 *はがきで応募
 ■賞品/正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

メリーさんの“ヤギ”



かわぞえ 川添 わか 和嘉さん (大浦乙)

災害時に役立つスカート



なかむら やえこ 中村 弥栄子さん (浜改田)

ミニトコライフ 165



22頭のヤギを育てています。童謡の「メリーさんのひつじ」ではないですが、全部メリーと呼んでいます(笑)。ミルクを販売して、プリンやアイスクリームに加工してもらっています。エサの組み合わせを工夫することで味の調整をしています。季節によっても配合を変えます。農業関係の仕事に就いている息子にアドバイスももらいながら、試行錯誤して育てています。ヤギミルクは栄養豊富で消化も良く、おなかにやさしいミルクです。ヤギミルクの良さを広く皆さんに知ってもらいたいですね。

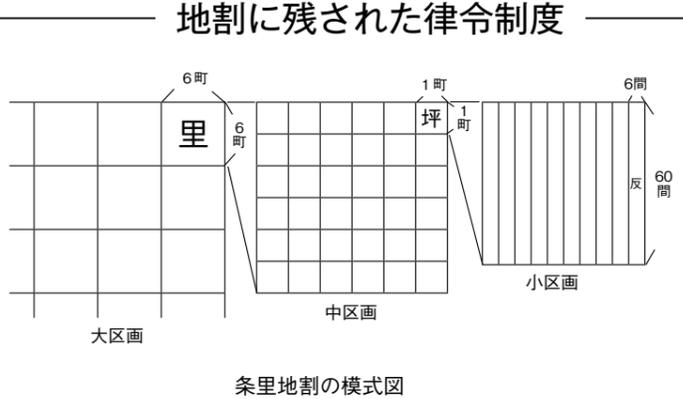
50年ほど前に雑誌の企画に応募して採用されたのがきっかけで、ちよつとした工夫で便利なものができないかと考えるようになりました。今のテーマは「災害」。先日、「恥ずかしくない野外スカート」を考えました。災害時にはトイレも着替える場所もないかもしれません。でも、このスカートを使えばあまり恥ずかしい思いをせずに着替えたりすることが出来ます。作り方は簡単。スカートの両脇にファスナーを付けるだけ。ズボンの上にこのスカートを履いて、両脇から手を入れるとスムーズに着替えることができますよ。

「誰でも手軽にお金を掛けずに」をモットーに、日ごろから発明を考えているとのこと。皆さんも考えてみませんか?

なんこく歴史散歩 第17回

香長条里 大化の改新の詔で示された主要政策の一つに班田収授法があります。これは、公地公民制のもと、農民に口分田という一定の田を支給することを定めた制度で、条里はそれを効率的に施行するためにつくられた農地地割ではないかと一般的にいわれています。土地を6町(約650m)間隔で、正方形の大区画に区切ったものを「一里」と呼び、それぞれの里を1町四方に区切った中区画を「坪」と呼びます。坪はさらに小区画に分けられ、それを「反」と呼びます。

また、地名から見ても、例えば野田地区には当時のなごりで「三ノ坪」や「九ノ坪」など、坪の位置を示す小字が残されています。



条里地割の模式図

※お問い合わせは生涯学習課文化財係 (☎880・6569) まで

今年度を迎え、新たな環境でスタートされている方が多くいることと思います。この時期は、新しいメンバーで親交を深める「飲み会」の席が多くなる時期でもあります。「〇月〇日歓迎会です。出席できそうですか?」そう聞かれたとき、あなたならまず何を考えますか?私の場合、まずは夫の予定はどうだろうか、夫に予定が入っていたら子ども達を誰に頼もうか、ご飯の用意はどうしようか、平日であれば子どものお迎えはどうしようか...と、とにかく「飲み会」の席に行くまでの段取りをあれやこれやと夫などに相談して考えます。一方、夫は当たり前のように「仕事だから」と予定を入れてきます。

結婚してから当たり前と思って家事をし、出産後、職場に復帰してから家事の多くをこなす毎日。子どもの病気などと思うように仕事ができず、歯がゆい思いをすることも度々です。夫も同じ思いかもしれません。総務省の平成23年社会生活基本調査を見てみると、家事関連の時間は男性42分に対して、女性は3時間35分とのこと。この差に驚く反面、納得という感じを受けました。ちなみに有業者の仕事時間は、男性6時間56分、女性4時間50分

「今の私にできること」

と2時間以上の差が見られました。印象的だったのは、女性は末子が成長するにつれ家事関連時間は短くなり、仕事などの時間が長くなる傾向があるという結果でした。生活費のためという方もいるでしょうが、自分の納得のいく仕事をしたいという女性もいるのではないのでしょうか。そのような中、調査を行うたび(5年ごと)に男性の家事関連の時間は少しずつ減ってありますが、増加しており、育児にかける時間も男女ともに増加しているのは、確実に社会の意識が変わりつつあるという表れでしょう。振り返ると、私が家事をする方が早いし、できる方がすばいという思いがありました。夫婦や家族で話し合い、できるできないに関わらず、役割分担をしていくことが、家族の一員としての自覚につながっていくことだと思えます。将来、我が子たちが自分のことは自分でできるように、そして家族が助け合うのが当たり前と思えるようにしていくことが、男女を問わず誰もが生きやすい社会にしていくなために、今の私にできることなのかもしれません。

※お問い合わせは人権啓発広報委員会 (☎880・6569) まで

市民からのお便り (親子クイズ) かわいい動物の絵があり、英単語の問題だったので楽しみながらできました。